

平成30年度第2回経営協議会議事要録

日 時 平成30年10月29日（木） 13時30分

場 所 KKRホテル名古屋 福寿の間

出 席 学内委員5名（欠席なし），学外委員5名（欠席1名） / 会議成立

開会13時30分

開会にあたり，議長（学長）から挨拶があった後，本日出席の委員数が確認され，会議成立が宣言された。次いで，総務課長から，配付資料の確認及び会議日程等の説明があった。

前回議事要録の確認

議事に先立ち，前回会議（平成30年度第1回）の議事要録について確認した。

議題

1. 業務達成基準（業務の実施に伴い運営費交付金を収益化）を適用する業務について

議長から提議され，上口委員（総務・財務担当理事）から，附属図書館改修の一環となる構内駐輪場の新設工事の期間変更について，資料により説明があり，これを承認した。

報告

1. 大学院改革プランについて

議長から提議され，学長（大学改革推進委員会委員長）から，現在，文部科学省と交渉中である大学院の改革プランについて，資料により報告され，次いで，中田委員（教育・学生担当理事）から，文部科学省との交渉の状況について報告があり，以下の質疑応答があった。

○学外委員からの質疑 ●大学側の回答（以下，同様）

- 改革後の大学院の設置審査は実施されるのか。
- 確約まで至っていない状況であるので，今後確認しながら手続を進めていくことになる。
- 教職大学院に移行していくことは，全国的な流れなのか。
- 教員養成大学はその流れにある。
- 現職教員が大学院に派遣される場合の費用はどうなっているのか。
- 派遣元である名古屋市や愛知県が負担している。

2. 平成31年度概算要求について

議長から提議され，上口委員（総務・財務担当理事）から，文部科学省から財務省へ要

求された本学の概算要求の概要について、資料により説明があり、次いで質疑応答を行った。

- 「S」評価が並ぶ中、施設整備事業評価結果の「3. サステイナブル・キャンパスの形成」に「C」評価があり、他の大学も同様の評価となっているが、どのような評価基準によるのか。
- 外部資金の獲得や省エネ性能など、先導的モデルとしての評価を受けるために、他大学も含めて、高い評価を得られにくい状況となっている。
- 退職後の補充は年俸制としての採用となるのか
- 退職者を必ず補充する考えではないが、今後、文部科学省より示される年俸制のガイドラインの内容をみながら本学の制度を考えていく予定としている。
- 来年度から実施の予定なのか。
- 文部科学省のガイドラインの発表を待って、来年中に制度を決めていきたいと考えている、他大学もガイドラインの発表を待っていると聞いている。

3. 平成29事業年度財務諸表の承認について

上口委員（総務・財務担当理事）から、資料に基づき、平成30年8月31日付けで文部科学大臣から標記承認について通知があった旨報告があった。

なお、目的積立金の承認については、後日改めて連絡がある旨の説明があった。

4. 平成29事業年度財務レポートについて

上口委員（総務・財務担当理事）から、標記について、決算の状況等を分かりやすく見やすく作成したこと、次いで、取組やビジョン等の掲載内容の要点が、資料により報告された。

5. 平成30年人事院勧告について

上口委員（総務・財務担当理事）から、標記について、平成30年の国家公務員の給与等の見直し・法改正の動向を踏まえ、本学役職員の給与を改定することについて、資料により改定事項、実施時期、財源状況などの説明があった。併せて、改定に伴う学内関係規則等の改正案については別に準備中であり、国会での審議経過により、実施時期によっては、メールによる書面会議の方法により審議いただくことについて説明があり、これを了承した。

6. その他

- 次回会議の開催日程について

議長から，次回会議は年間計画に沿って12月10日（月）から12月21日（金）までの間に開催する予定で，おって日程照会を行うことについて説明があった。

閉会 14時47分